

## アジア太平洋の労働者をつなぐ

# Links

2008年11月  
No.49

アジア太平洋労働者連帯会議（APWSL）日本委員会 機関誌（季刊） 定価 200 円  
発行所 東京都千代田区三崎町 2-13-5 影山ビル 501 協同センター・労働情報 気付  
TEL 03-6675-9095 FAX 03-6675-9097 Eメール apwsljp@jca.apc.org URL <http://www.jca.apc.org/apwsljp/>

### APWSL 日本委員会 2008 年（第 19 回）総会の報告 トヨタの本拠地から労働者の国際連帯を広げよう

高幣真公（APWSL 日本委員会関東調整委員）



愛知県東海市青少年センターで開催された総会初日。関西 7 人、関東 7 人・東海 7 人が出席

APWSL 日本委員会の 2008 年度総会を 7 月 12（土）午後から翌 13 日（日）お昼まで愛知県東海市青少年センターと近くの坂喜代子さんお宅で開いた。2 日間で関西、愛知、関東から合計 21 人が参加した。会場のある東海市大田町は知多半島の付け根で名古屋の近郊である。

総会 1 日目は冒頭、原田恵子共同代表と地元 APWSL 愛知の坂代表の歓迎のあいさつから始まった。その後、全員が短い自己紹介を行う。

各テーマはビデオやスライドなど映像を使ってビジュアルに報告された。

この日のメインイベントは以下の 7 個のビ

ジュアル運動報告である。

1) 大阪・毎日放送制作の「映像 2007 夫はなぜ死んだのか～過労死認定の厚い壁～」。これはトヨタ堤工場の内野健一さんの過労死の労災認定に関する裁判勝利（昨年 11 月名古屋地裁判決）のドキュメンタリーを短縮したもの（30 分）。上映後、全トヨタ労組を支援する会の近森泰彦さんから以下の補足発言があった。これは単に内野さんの労災認定に留まらず、トヨタと労働基準局との癒着構造を暴く端緒になる闘いだっただ。

2) フィリピントヨタ労組を支援する会の 2008 年度総会で発表された 1 年間の活動報告スライド

を圧縮・改訂した(12分)。スライドと並行して同会の吉田稔一さんが今年も9月中旬に予定する世界キャンペーンのアピールを行った。

3) 原田恵子さんが今年1月タイを訪れ、タイ APWSL のメンバーたちの労働運動の現場を記録したビデオ(9分)。上映後、原田さんは軍事政権が終わったが、弾圧が続く厳しい状況を話した。

4) 7月4日から7日までの札幌でのG8洞爺湖サミット反対運動の写真スライド(10分)を映しながら稲垣豊さんと他の参加者が報告した。警察の異常な過剰警備が目だった。

5) 組合つぶしの解雇が原因のハワイ・パシフィック・ビーチ・ホテル争議について Labor Now の青野恵美子さんと高須裕彦さんが5月に現地を訪れ、争議を支援すると同時にビデオに記録した(約3分)。そして、7月初め当該組合の2人が来日して日本の支援組織にボイコット運動を訴えた。そうした経過と今後の方針を山崎精一さんが報告した。

6) ノヴァ英会話学校の倒産とその後のG社によるインチキ引き継ぎ、それを跳ね返したゼネラルユニオンの奮闘の経過を民放のテレビニュース(約5分)を見ながら、ゼネラルユニオン委員長の山原克二さんが報告した。

7) 昨年、東京葛飾区の高嶺清掃(株)でアルバイトを組合員に組織化した自治労公共サービス清掃労組高嶺支部で切り崩しのために解雇された組合員の解雇撤回の闘いを6月27日の東京東部地区集会を中心に高幣がビデオ制作した(10分)。その後、同清掃労組書記長・河津竜司さんが現状を報告した。

### 3 地域の活動報告

第2部として3地域の活動報告を行った。

愛知: APWSL の活動を通じてつながった人々が愛知で今後さまざまな対トヨタや外国人労働者との連帯など国際連帯を通して労働運動の発展を模索したいと阪野智夫さん(APWSL 愛知事務局長)が話した。



地元愛知を代表して坂喜代子さんが歓迎の挨拶

務局長)が話した。

関西: 昨年度7月に韓国 APWSL と交流、9月に中国子会社がカドミウム汚染を引き起こした松下電池への抗議、12月に東一紡績争議ドキュメントを中心にレイバーフェスタ 2007 を開くなど主だった行動を丹羽通晴さんが報告した。

関東: 日本委員会 18年を経過し、メンバーが高齢化、出発の頃の活発さを失いつつある中で、草の根国際交流とインターネットなどを使った情報交流を活発化させていくなかでメンバーの拡大を図っていききたいと高幣が提起した。

1日目の会議日程を終え、午後6時過ぎに近くの坂さんのお宅に移動した。お宅は兼業で農業も営む田んぼや畑に囲まれた農家の大きな住宅でした。食材は坂さんの家で獲れた野菜や鶏・卵が中心に手作りの10数種の料理とビール、日本酒、焼酎と豊富な酒で20人ほどの大宴会となった。午後7時から始まり、終わったのは11時過ぎであった。翌朝も様々な料理とその日に産んだ卵をごちそうに朝食をいただいた。

### 3つの定例議題

2日目(13日)は以下の3つの議題を討議した。

### (1) APWSL 国際組織と次回総会・現状と今後の展望

日本委員会に新しく愛知が加わったので APWSL の成立以来の簡単な経過と各国組織の現状を山崎精一さん(共同代表・東アジア調整委員)が報告した。規約では今年3年に1度の国際総会(Council Meeting)を開く年であるが、2つの理由で現状では開けない。総会開催の費用がないことと、APWSL の執行部である書記局(調整委員と2名の共同代表)の意志一致ができていないことだ。各国の交流など地道な活動を続けながら、総会のチャンスを見出すことを確認した。

### (2) インターネット活用と機関誌「リンクス」

2005年のマレーシア総会で決定した APWSL の WEB サイトは韓国の責任で2005年12月に開設された。しばらく日本からの情報送信の体制が整わず休業状態であったが、昨年7月からレイバーネット日本の国際部が毎月10本のニュースを英語で掲載し始めた。この7月で丸1年になり、さらに充実させるよう努力する。(担当・高幣)

国際メーリングリスト "APWSLMEMBERS" は日本の担当で WEB とほぼ同じ時期にスタートさせた。残念ながら互いの組織の情報交換や討論などに本格的に利用されていない。加盟各国の人々に積極的な利用を呼び掛けていく。(担当・山崎)

季刊の日本語機関誌「リンクス」は不定期だが、昨年3号発行された。昨年編集長が稲垣豊さんに交代した。しかし、定期発行が困難な状態。次期編集長を関東で決める(稲垣報告)

日本委員会 WEB サイトは昨年度ほとんど更新できず、開店休業状態。今後、レイバーネット、フィリピンヨタ労組(TMPCWA)を支援する会、会員労組などのホームページと連携したサイト構築を進めたい(高幣報告)

会員メーリングリスト "APWSLJPMEMBERS" を開設して10年以上経過、ようやく50名を越え

るメンバーになった。日常的な情報のツールとして ML はますます重要になっている。Eメールを使う人も増えているので会員にもっとメンバーになってもらうように働きかける(高幣提案)

昨年日本委員会の新リーフレット作成が決まり、今回試作版を配った。もっと APWSL の役割を具体的に書いた方が良いなどの注文を受けて、早急に完成配布する。(山崎提案)

### (3) 2007 年度決算と 2008 年度予算

2007 年度決算は収支とも約 37 万円ではほぼ均衡している。会員減少などが原因で一昨年に比べ会費納入が減った。2008 年度もほぼ同規模の予算を提案し、決定した(会計・池田良二提案)

### (4) 役員はほぼ全員留任で以下の通り選任した。

共同代表：原田恵子、山崎精一

調整委員：丹羽道晴、高幣真公

「リンクス」編集長：関東で選出

会計：池田良二

会計監査：山原克二

全国他運営委員：現役員留任と追加 + 愛知から推薦者追加

### (5) その他

フィリピンヨタ労組支援の世界キャンペーンの団体署名に APWSL 日本委員会も署名することを決めた。



夕食に坂さんの畑で採れた野菜を中心に御馳走が並んだ

## 愛知の皆さん、ありがとう

会議は予定通り 12 時前に終了。昼食のカレーライスを最後の食事としていただき、記念撮影をして、坂さん宅を退去した。その後、希望者 10 名余りがエキスポ - ジャーとして名古屋にある産業技術記念館(トヨタテクノミュージアム)を見学した。

初めての愛知県で開催、しかも個人宅での開催で準備等地域の皆さん、とりわけプロジェクトを設定していただいた加賀吉利さんや料理等の手伝いに来てくれた坂さんの友人の塩川昭代さんや夫君坂信義さんにたいへんお世話になり、大きな負担をおかけした。いっぱい美味しい料理と至れり尽くせりの歓迎していただき、まれに見る楽しく充実した総会でした。また、総会の成功のために努力していただいた愛知の皆さん、たいへんありがとうございました。(2008/7/20)

## 総会参加者の感想

産みたての玉子がとりわけおいしかった  
A P W S L 愛知：阪野 智夫

## 第一日目

梅雨明けの真夏のような強い日差しがある中、総会の第 1 日目は、東海市の青少年センターで開催された。

関東、関西、そして地元愛知から合計 19 人が参加して、まず主催者挨拶として A P W S L の共同代表である原田さんが。そして 6 月に結成されたばかりの A P W S L 愛知の坂代表が歓迎の挨拶をした・・・

## 第二日目

雑魚寝した座敷の東側の縁側に強い陽ざしがかかって、朝 6 時に目が覚めた。関西のメンバー M さんを誘って付近の散歩に出かけた。もう釣り人のいた池の周辺、集落の墓地のあるお寺を回って、里山ともいえる、林に続く小道を行くと、蛇のこどもの死骸があった。やや黒っぽいシマヘビのようでもあったが、マムシかもしれない。久しぶりに見る蛇であった。

鳥小屋からの、産みたての玉子がとりわけおいしかった朝食を戴いたあと、予定より 30 分早い 8 時半から 2 日目の会議が始まった・・・

続きは、名古屋発 私の日録“郷蔵 21”でどうぞ

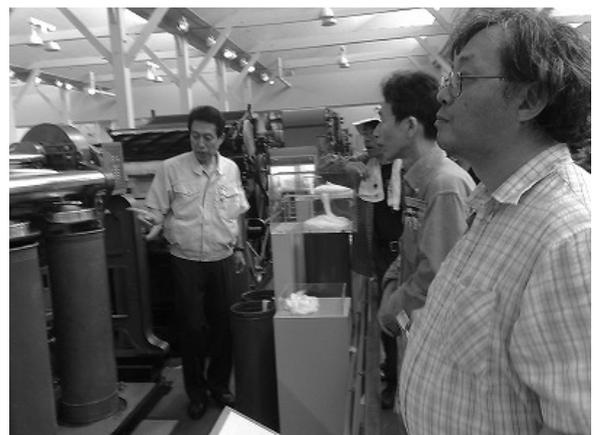
URL: <http://tomo-gongura.cocolog-nifty.com/blog/>

これほど贅沢な交流会・総会はない  
A P W S L 関西：丹羽 通晴

「愛知といえばトヨタ」は言い過ぎなのだろうが、とはいえそんな印象を強くした。フィリピン・トヨタ労組の闘い、内野労災裁判闘争、「トヨタに物言う」労働組合の誕生という流れをひとつの柱として「A P W S L 愛知」が結成された風に思えるし、その結成力を借りて A P W S L の日本委員会総会がはじめて愛知で開催された。これまで愛知では 2 回ほど全国運営委員会が行われ、うち 1 回はフィリピン・トヨタ争議のトヨタ本社行動にあわせて豊田市近郊のお寺でやったと記憶している。

今回の総会でも、フィリピン・トヨタ、内野労災、全トヨタ労組の報告が、映像や当該の発言を含めて行われた。そして、総会終了後のエキスポ - ジャーとして案内されたのもトヨタテクノミュージアムだった。それほど期待をしていたわけではなく、しかもトヨタを持ち上げるのは癪だが、これがなかなかのもの。とくに繊維機械館では、綿から糸へ、糸から繊維になる工程が実際の機械を使ってわかりやすく展示されていた。タイをはじめアジアの女性労働者との交流を重ねている原田さんは、「彼女たちがどういう仕事をしているのか、その基本的な知識を得られた。これだけでも、今回の総会に来た甲斐があった」と言っていた。

坂さん宅での交流会の豪勢さは、これまでも絶賛の嵐とともに報告されているから、ここではあらためて記さない。ただし、来年の関西総会では、けっしてこれほど贅沢な交流会・総会はないことを言明しておきたい。なお、今秋のフィリピン・トヨタ労組行動では、関西集会は日程的に難



エキスポ - ジャーはトヨタテクノミュージアム(産業技術記念館)

しい様子なので、できれば愛知行動に関西から徒党を組んで出かけたと思っている。

あっという間の2日間

APWSL 関東：河津 竜司

総会の感想について関東で私が御指名ということで、まず最初にお礼を、坂さんをはじめたくさんの御馳走を作ってくださった塩川さん、愛知の皆様本当に有難う御座いました。

初めて愛知の地を訪れて暑い熱い議論を交わしたことは、忘れえぬ思い出になるでしょう。私の中ではニュージーランドへ交流した時のジョン・メナードの「資本家が手を繋いでいるから、我々も手を繋ぐのだ」がAPWSL になっていて、

名古屋のみなさんが考えていた目的など考えたこともなく会議に出席していましたので恐縮してしまいました。(愛知の人は、真面目な人が多いと感じる。関西の人は落ちを入れて話すように思われる)

世界のトヨタの話でフィリピンだけでなく、国内でも金に物を言わせて労基署まで買収していると知り驚き。この国がいかにか腐り切っているかということに改めて実感。

想像していた以上にあっという間の2日間でした。はっきり言って難しいことは分かりませんが今後とも微力ながらもお役に立てればとの思いで諸先輩方のアドバイスを頼りにやっていきたいと思ひます。

**2007 年度決算報告書**

会計期間 2007年7月1日～2008年6月30日

収 入		支 出	
項目	07 年度決算	項目	07 年度決算
前年度繰越金	44,774	印刷費(リンクス)	100,470
会費	360,000	事務所費	60,000
団体	90,000	国際交流費	40,000
個人	270,000	連帯金 500 \$	58,525
ニュース売上	1,890	総会費	67,900
カンパ	0	共闘費	6,000
雑収入	0	通信費	15,444
ビデオ売上	6,000	振込手数料	2,580
		事務費	15,225
年度合計	367,890	年度合計	366,144
総合計	412,664	年度収支	46,520

**2008 年度予算**

会計期間 2008年7月1日～2009年6月30日

収 入		支 出	
項目	08 年度予算	項目	08 年度予算
前年度繰越金	46,520	印刷費(リンクス)	150,000
会費	500,000	事務所費	60,000
団体	200,000	国際交流費	100,000
個人	300,000	連帯金 500 \$	60,000
ニュース売上	4,000	総会費	100,000
カンパ	10,000	共闘費	10,000
雑収入	5,000	通信費	50,000
ビデオ売上	5,000	事務費	10,000
		ネット会費	20,000
年度合計	524,000	予備費	10,520
総 計	570,520	総 計	570,520

# 第三回反トヨタ世界キャンペーン報告

## フィリピントヨタ労組を支援する会



9月14日、名古屋駅前のトヨタビル前で宣伝カーの上で市民に訴えるフィリピントヨタ労組のエド委員長（左）、ヴェル書記長（右）、全トヨタ労組の若月委員長（中央）

9月14日から19日にかけてトヨタに対してフィリピントヨタ労組233名の解雇撤回、団体交渉開始を求める第三回反トヨタ世界キャンペーンが行われた。日本ではエド委員長、ウェニー副委員長を招いて15日豊田市本社、17日東京本社への申し入れを行った。今回のキャンペーンは日本の多国籍業を代表するトヨタの子会社の足元で組合つぶしのため軍隊を配備する、組合委員長を政治的暗殺のターゲットにするという非常に緊迫した状況の中で行われた。

トヨタ本社はこれまでも私たちとの誠意ある交渉を一切拒否し、現在も責任ある部署が生命の危機にさらされているエド委員長と会おうとすらしめない。今回の申し入れで担当課長がやっと約束したことは、軍隊配備・政治的暗殺についての私たちの申し入れ書、趣旨を部長へ

伝え、部長が経営陣に報告したかどうかを私たちに伝えるというだけである。豊田市本社への申入れ後エド委員長は「私がみなさんに報告できることはほとんどない」とはき捨てるように述べた。

フィリピントヨタ労組と支援する会は2004年にトヨタの組合つぶしを『OECD多国籍企業ガイドライン』違反で外務省OECD室日本連絡窓口(NCP)へ訴えている。9月19日にこのNCPと面談し申し入れを行った。NCPでトヨタを担当する経産省担当者はトヨタへの働きかけを検討するとしたが、NCPの取りまとめを行う外務省の担当者は私たちの軍隊の配備、エド委員長の生命の危機についての報告に対し「何か証拠でもあるのか」と言う始末。エド委員長は「私たちに証拠云々という前にフィリピントヨタの工場などを調査したのか、それは君

たちの仕事ではないか。4年間も仕事を放棄しているのは君たちではないか」と批判した。

この8月22日にはフィリピン軍関係者と推測される正体不明の二人組がマニラのエド委員長宅の自宅近辺を徘徊した。一人はナンバープレートのないバイクで待機し、一人がエド委員長宅を見張った。この正体不明の男はエド委員長の家族に監視されていることに気付き、急いでバイクの待機場所に帰り後部座席に乗って逃げ去った。この二人組の行動はアムネステイ報告などで示されている過去の軍関係者の政治的暗殺の基本行動パターンと完全に同じである。この日家族が気付いていなければエド委員長に危害がおよんだ可能性がある。

アロヨ政権は多国籍企業のために「NO ユニオン! NO ストライキ!」政策を強力に推進し、東アジアで唯一アメリカと共に国内で反テロ戦争を行う国になった。アロヨ政権は選挙・汚職疑惑などで危機を深め、2006年に非常事態令を発布した。これは内外の批判ですぐに撤回されたが、マルコス政権戒厳令下14年の政治的暗殺1500人に対し、フィリピン人権団体カラパタンによればアロヨ政権7年間の政治的暗殺は実に888人を数えている。

フィリピン子会社の組合指導者の生命の危機を放置するトヨタの人権抑圧は決して偶然ではない。トヨタは内野健一さんの過労死認定裁判が明らかにしたように、QCサークル活動等



トヨタ東京本社に向けて抗議のコール(9月17日)

のサービス残業の超過密長時間労働によって過労死や精神障害を多く生み出している。被雇用者の自殺が日本で最も多いのは愛知県の豊田警察署管内である。また、経団連とトヨタの会長であった奥田氏が進めた労働市場の規制緩和とトヨタの下請けへの異常なコストダウンによって下請け会社にはしわ寄せが集中し、違法状態が構造化している。底辺にはベトナム人研修生・実習生のTMC裁判に見られる現代の奴隷労働が生みだされている。こうしたトヨタの労働者の生命の軽視、人権無視がフィリピンではエド委員長の生命の危機を生み出している。

今回の反トヨタ世界キャンペーンにはトヨタ関連のあらゆる階層、あらゆる雇用形態、様々な外国籍の労働者が加わる労働者組織が参加した。全トヨタユニオン、名古屋ふれあいユニオン、ガテン系連帯、神奈川シティユニオンといったトヨタ本体から下請け労働者、正規から期間工・派遣・パート労働者、研修生・実習生を含む外国人労働者を網羅する組織がそれである。トヨタとアロヨ政権への抗議文・メールは現時点集約で海外8カ国30団体・3個人、日本国内478団体、81個人に達している。

今世界でトヨタへの包囲が大きく進み、トヨタの足元から確実な反撃が始まっている。



トヨタ本社前で演説するエド委員長(9月15日)

## 「09年問題」をメインテーマに秋季大阪総行動を展開

丹羽通晴(A P W S L 関西)



会社の違法を是正したらクビになる？

いわゆる「09年問題」について、厚生労働省は今年9月26日、「物の製造業務に係る労働者派遣については、平成18年頃から、従来請負により処理していた業務を労働者派遣により処理するよう切替えが進められたものが多いと推察されており、これらについては平成21年(2009年)において、平成19年3月1日より最長3年間に延長された派遣可能期間が満了することとなる」として、対応を公表した。

つまり、違法派遣や偽装請負を是正したものの、結果として来年には大量の解雇が発生することになるのだ。おおさかユニオンネットワークは、連合結成当時に争議支援や共同闘争を継続していくために設立された労組共闘であり、春闘時には争議会社への抗議・申し入れ行動などを展開してきたが、この秋は「09年問題」をメインテーマとして10月15日に秋季大阪総行動を取り組むこととなった。

というのも、ユニオンネットワークの主力組

合でもある全港湾大阪支部クボタ分会の労働者たちがまさに、この問題に該当するからであった。クボタの恩加島工場(大正区)で働く外国人労働者たちは、違法派遣・偽装請負の下で長く働いてきた。そして、この違法雇用状態の是正により昨年4月から直接雇用となったものの、雇用期間は6ヶ月で最大3回更新、つまり最長2年の有期雇用となったのである。

長い人で13年もクボタで働き続けてきた人たちが、会社の違法雇用を是正したら雇い止めを余儀なくされるのだ。こんな理不尽な事態に困惑したメンバーが全港湾に相談を持ちかけ、やがて分会を結成して組合員を増やしていった。その構成はブラジル人、ペルー人、中国人で約30人が組合に加入した。

組合ではこれまで団体交渉からストライキ、春闘でのおしかけデモ、街宣活動などを展開、ユニオンネットワークの春季総行動でも抗議申し入れを行うなど、あらゆる手段で闘争を強めているが、会社側の不誠実な対応は改まらな

い。そして、この9月には大阪地裁へ提訴もした。

この日、3時にクボタ本社(浪速区)近くの公園に集結し、簡単な集会をした後にデモに出発。クボタ本社に向けて大きなシュプレヒコールを挙げて通過するとともに、代表団を編成して雇用継続を求めるなどの申し入れ行動も合わせて行った。

#### 大阪市役所前での攻防

この日は、せっかく各組合から100人を超える仲間たちが仕事を休んだりして駆け付けるのだから、夕方からの行動だけに使うのはもったいない。ということで、いくつかの争議支援もまじえて1日行動として取り組まれた。少し時間軸を戻すことにする。

スタートは大阪市役所、朝8時半。教育合同の新任免職裁判についての抗議申し入れ行動であった。この問題では、大阪高裁でみごと逆転勝利判決を勝ちとったが、大阪市教委は最高裁への上告受理を申し立てた。高裁判決では、

当人は以前に大阪市の公務員だったことから、条件附採用というのは当たらない、仮に条件附採用であったとしても、教員としての適格性に欠けるとは思えない、と認定している。

これに対して市教委は、については上告理由は無いと言わざるを得ないが、については法律上の新しい判断と言えるので、上告を検討している、と述べていた。ということなら、ともかくも職場復帰させたいので、については上告をするのであれば、まだわかる。法律判断上の是非を最高裁で争うためだけに、人が働くという機会を奪おうというのは、ましく人権侵害というほかない。

しかも、裁判費用は税金で賄われるわけで、「議会の承認はどうなるのか」との質問には、「慣例として必要ない」との返答。されば、「慣例というならいつの事例か?」に対しては、「記録が残っていない」…。怒り心頭に発した組合が「今回は御堂筋側の正面玄関から申し入れ行

動を行う」と通告。これまでの門前集会は公園に面した南側で行っていたのだ。これに対して市教委は「それは困る。そういうことをされると、退去勧告を出さざるを得ない」と述べ、事前の団交では平行線のままに終わっていた。

そして、10月15日当日の朝。なんと「都合により、正面玄関を閉鎖しています」と来たもんだ。大阪市役所の正面玄関を閉めるのは、たぶんはじめてだと思う。それでもロープと市職員がガードする前にみんなが集結して、代表団が大阪市教委との交渉をしている間、押し合いへし合いの門前集会を強行した。

続いてはヤンマー本社に移動。梅田の一等地、お洒落タウンのど真ん中で、やはり社前行動と申し入れを挙行した。ヤンマーも琵琶湖工場(長浜市)での違法雇用を是正して直接雇用にしたものの、最長で2月11ヶ月という有期雇用への変更であり、8人がアルバイト・派遣・パート関西労働組合に加入して闘っている。

そして、昼休み時間には大阪労働局に移動して、違法雇用を根絶するため厚労省や労働局は行政として当たり前の指導を企業にするようにとピラマキ、門前集会を行った。この日、京都でも行動があったGSユアサや、先ごろ大阪高裁で勝利判決を得た松下PDPの吉岡くんもこの集会に参加して発言した。

夜は派遣ネット関西が京橋駅前でのパフォーマンス行動を企画し、総行動に参加した一部もここに合流。違法雇用の実態を暴露した映像を流しながら、ピラマキやアピールで行き交う人たちに訴えた。



# 激動するタイの政局、民衆蜂起なのか？

## バンコクからの現地レポート

T・M (APWSL 会員)



8月に入ってタイの政局は大きな激動が起こった。首相官邸占拠や全国規模のデモなど、民衆の運動なのか、政党の争いなのか日本でよく分からない。APWSLのタイとも連絡が取れていない状況だが、APWSL日本の会員・TMさんがたまたまバンコクに滞在していたので、現地の状況をメールで伝えてもらった。

9月2日 第1信  
労働組合が野党の行動を支援し、連日スト

H さま、

タイでは8月下旬、サマック首相を批判する野党、PAD (民主市民連合 People's Alliance for Democracy) が現政府に対して「最終戦争」を宣言し、国会議事堂前広場を数日間にわたって占拠し、またテレビ局 (NBT) を襲うなどの行動をとったため、首相側は、PAD に対して「最後通告」を発し (8月27日新聞報道による)、デモ関係者の一斉逮捕も辞さない構えを見せていますが、その後、野党側の行動も沈静化しており、また首

相側も世論を気にして姿勢を軟化させており、対立は続いているものの、大きな衝突はありません。

先週末、南の方へ海水浴に行こうと思って、フアランポン駅へ行くと、南方面行きの列車はストライキのため全便運休。労働組合が野党の行動を支援し、連日ストを行なっています。結局、金、土、日曜日の3日間、ストは続き、列車は動きませんでした。旧市街の各所では、連日デモが行なわれており、交通渋滞が激しくなっています。夕方になると鉢巻きをしたデモ帰りの人たちが旧市街から戻ってくるところに遭遇します。交通警察のボックスを占拠しているグループも見かけました。しかし、市内にとくに緊張した雰囲気があるわけではなく、のんびりとしたものです。

パラット (APWSL 調整委員・タイ) さんとは、じつは、まだ会えていないのです。6月にメールのやりとりをした際に、8月下旬までタイを離れる旨連絡があり、先週末、そろそろ帰られたかと思ひ、再度メールで連絡したのですが、まだ返事

がありません。私の滞在もあと2～3週間を残すところとなりましたので、何とかしてお会いしたいと思っているこのごろです。

APWSL 日本委員会のみなさんは、お元気ですか。総会は盛り上がったようですね。では、取り急ぎ T M

9月2日 第2信

PAD (民主市民連合) と UDDT (民主戦線) のデモ隊が衝突、死者1名、負傷者40名以上

T 様

メール、ありがとうございます。さて、バンコクは、昨夜、PAD (民主市民連合) と UDDT (民主戦線 United Front for Democracy) のデモ隊とが衝突、死者1名、負傷者40名以上を出す悲劇となり、サムック首相は今朝、非常事態宣言を発しました。そのため私の娘たちが通っている幼稚園と保育園でも、明日より週末まで3日間の休校措置がとられるなど市民生活にも影響が出て来ています。明日から、多くの労組がストを打つ予定を組んでおり、バスも止まるようです。すでに列車は先週末以来運休しています。

しかし、私が今日、大学へ行って授業をしてきたかぎりにおける見聞からすれば、市内はいつものところ平穏を保っています。デモなどは首相官邸等がある旧市街区で行なわれているようで、それ以外の地区では平穏です。

今日、現在の政治状況について学生に意見を聞いてみたところ、ほとんどの学生がサムック首相は嫌いだ、辞職すべきだという意見でした。しかし、PAD のやり方も上手くはない、妥協が必要だとも言っていました。

PAD の運動が、どの程度大衆の民意を反映しているのか、人々の意見を聞いてみたいと思います。

福田首相が辞職したようですね。いろいろ起こりますね。では、また!

T M

<9月2日 第3信>

首相府と国会議事堂の構内、座り込んでお祭り騒ぎの盛り上がり

H+T 様

今夕(2日) PAD が占拠している首相府及び国会議事堂の構内へ入ってきました。写真を添付します。

昨夜デモ隊の衝突があったラチャダムヌーン

ノーク通りには機動隊の車両が並び、多人数の警官が警戒にあたっていました。一般の車両は皆無です。歩いて通りを首相府のほうへ向かう集会参加者と思われる人々といっしょに進み、ボクシング・スタジアムの前を過ぎ、国連ビル前の広場まで行くと、そこにはバリケードが築かれていて、その先の道は封鎖されています。PDA のメンバーと思われる人がそこより先へ行こうとする人々を検問しています。といっても鞆の中身を見るぐらいで、すぐに中へ入れてくれました。

入るとすぐ脇にステージがあって、テレビでおなじみの演説が行なわれています。その先の通りは、PAD の T シャツやデモ用の鉢巻き、たすきなどを売る屋台、炊き出しの屋台などが続いています。楽しそうな雰囲気です。また、非常事態宣言下、5人以上の集会は禁止されているにもかかわらず、そこで集会が催されており、ときおり拍手や歓声が上がっています。さらに先へ進み、首相府と国会議事堂の構内へ入ると、相当数の人々が構内に設置されたステージの前に座り込んでおり、これはもうお祭り騒ぎのような盛り上がりです。構内の庁舎はすべて閉鎖されており、行政機能は停止している様子です。一通り回って無事に外へ出て、バスに乗って帰りました。

雰囲気からの判断ですが、民衆の動員には成功しているように思われます。以下、撮って来た写真の一部です。

T M



<9月2日 第4信>

首相府職員はバンコク周辺の他の政府機関に移って業務 - バンコク・ポスト紙

T さま、

明日も取材して、報告します。

バンコク・ポスト紙を読むと、占拠されてい

る構内にある建物で勤務していた公務員たちは、市内の他の省庁の建物で仕事しているようです。

以下、バンコクの英字新聞 HP からのコピーです。

「PADの占拠によって1週間前から約3000人の首相府職員はバンコック周辺の他の政府機関に移って業務を継続せざるを得なくなっている。政府職員はPADのデモ隊に対してできるだけ早く首相府から退去するよう求めている。」

「アヌポン・パオチンダ陸軍司令官は金曜日(8/29)治安を維持するために交渉と平和的手段で応じると誓う

アヌポンは危機管理の責任者として声明した。危機状態を交渉で解決すると語った。治安部隊は武装していないが、群衆管理のために盾と警棒を持つことを明らかにした。だが、彼は対立する2つのグループの交渉から距離を置き、両者の暴力や紛争を防止すると見られる。」(訳・高幣)

取り急ぎ

TM

<9月6日 第5信>

非常事態宣言下、デモ行進中の学生2名が銃撃され負傷

4日朝、サマック首相はラジオ演説で、辞任しない、国会解散もないと述べた。4日夜、非常事態宣言下、デモ行進中の学生2名が銃撃され負傷。翌5日、抗議する学生たちがサイアムスクエアに集まり、再びデモを行った。

学生にインタビューしたところ、「サマック首相は辞任すべきである。それが政治的混乱を解決する唯一の道であり、それ以外にはない。国民は現政権の政治腐敗に憤っている」と答えた。

6日付新聞によれば、首相は近日中に非常事態宣言を撤回する模様。PDAは、首相の辞任が交渉の条件であるとしている。(TM)



<9月11日 第6信>

PADの運動は国家福祉と社会保障を目指すものではない---APWSL タイ委員会

T、Hさま、

昨日(10日) ついにパラットさん(APWSL 調整委員・タイ委員会)たちと会いました。正午より2時間程、ヴィクトリー・モニュメント近くのレストランでランチミーティングを持つことができました。APWSL タイ委員会のメンバー、パラットさん、スリパイさん、プラウィットさん、ジェブさん、パイリンさんの5名と私(望月)の計6名。以下、議論した内容の報告です。

1) タイの政治状況をめぐって APWSL タイ委員会の立場

APWSL タイ委員会は、PAD(民主市民連合)に対しては独立の立場を取っている。首相府の占拠を含むその運動からは一線を画している。しかし、個人の参加を妨げるものではない。

PADの運動は戦略として問題がある。その運動は国家福祉と社会保障を目指しているものではないように思われる。APWSL タイ委員会としては運動が労働者の福祉と安全を目指すものでなければ賛同できない。また、労組のストライキを支持することもできない。ストライキは貧困層の利益には当面結びつかないからである。もちろんサマック首相の辞任を求めることには賛成である。

今回の動きはこれまでになく民衆の政治意識を覚醒するものである点では、肯定的に評価することができる。機会を利用することが重要である。しかし、もし総選挙が行なわれれば、再びサマック派(国民の力党・PPP)が勝利するであろう。たしかにバンコクではPADは一定程度の支持を得ており、民衆的基盤もあると考えられるが、北部、東北部(イサーン)では、PPPの支持者数はPADのそれを上回っている。他方、南部ではテロリス

ト集団とその周辺組織が PPP に敵対しているが、彼らは PAD を支持しているわけではない。タイの国民的統合は実際むずかしい問題である。

## 2) APWSL 総会の開催について

問題は常に資金である。総会のコーディネータを引き受けることについてはやぶさかではない。パラットさんの希望としては、早い時期に総会を開いて責任者の役割を誰かに交代してもらいたい。次期の責任者は日本委員会から出すのがいいだろう。総会に向けての段取りはインターネットを駆使して行なうことができると思う。

議論の概略は以上です。

パラットさんのお父さんの病状はバイパス手術は成功し、現在は安定した状態を保っているそうです。しかし、今度はお母さんの具合が悪くなり入院しており、看病しているとのこと。というわけで、病院通いが忙しいと話していました。

T M



筆者(左) パラットさん(中央) スリパイさん(右)

### < 9月12日 第7信 >

深まる対立と高まる民衆の意識

T 様

タイの政局については、タイ在住の識者(日本人の大学教員)にも意見をたずねたところ、はじめは政党レベルでの PAD の反政府運動であったものが、UDD(民主戦線)との衝突(死者1名)を経て、次第に民衆レベルでの対立にまで深化してきている。民衆の政治意識も、そうして高まってきている。PADの政策に関しては、「サムック首相の辞任を要求しているのみであり、その後の政策的展望がない。サムック首相の非常事態宣言発令は遅きに失した。出ずなら首相府が占拠された時点(8月26日)で出すべきであった」と

いう意見でした。

パラットさんたちとのミーティングの際に6月中旬から始まった無料バス/無料列車(市内を走るエアコン無しの公営バスの半数ぐらいと国鉄の3等車の一部をタダにした)のことが話題にのぼりましたが、これはやはりサムック首相の場当たり的なポピュリズム政策の典型で、一方においてそれらのバスや列車を無料にしておきながら、他方ではその他のバスや列車の運賃を値上げしている。結局、無料となった分を負担しているのは市民ではないか。そんな子供だましのようなトリックを見抜けず、喜んでる支持者も馬鹿だ、との意見(パラットさん談)でした。

ともあれ、タイは面白い国です。週末に再度 Makkhawan を取材します。

T M

### < 9月15日 第8信 >

バンコクは知事選挙戦が盛り上る  
政府は非常事態宣言を解除

T、Hさま

以下にこの間の動きをまとめておきます。

14日(日) 政府は非常事態宣言を解除した。解除は、アヌボン陸軍大臣とソムチャイ首相代行の合意により1日晩、決定された。9月2日に起きた PAD(民主市民連合)と UDD(民主戦線)の衝突事件(死者1名、負傷者43名)を受けてサムック(前)首相が宣言してから12日目。宣言が出されてからも軍隊は動くことなく、また PAD の首相府占拠も続き、学生も怯むことなくデモを行なうなど、非常事態宣言は無意味であるのみならず、欧米からの旅行者を中心に観光客が激減し、経済的なダメージが広がっている。

また、この間、憲法裁判所がサムック(前)首相に対して有罪判決を下し、サムック(前)首相は失職、政局は次の首相候補者選びへと移っている。自らの意志に反して議会で復帰を拒否されたサムック氏は、政界を引退することを決断した。PPP(国民の力党)のソムチャイ・ウォンサワット氏が他の2人(ソムポン・アモンウィワット氏とスラポン・スーブウォンリー氏)に比べて有力と見られている。

PAD は、引き続き首相府占拠を続けるとしており、政府と PAD との緊張関係はまだ終わらない。他方、バンコクでは知事選挙戦が盛り上がってきている。

< 9月18日 第9信 >  
 知事選挙は10月5日に予定  
 ポスト・サマックの首相はソムチャイ氏

Tさま  
 タイでは、17日(水)、議会での投票の結果、ポスト・サマックの首相はソムチャイ氏と決まった。しかしソムチャイ氏とは、いったいどんな人物なのか？ 彼はタクシン元首相の義弟である(彼の妻はタクシンの妹である)。PADのリーダーは、ソムチャイ氏がタクシン元首相との関係について金輪際潔白であることを公に証明しない限り、首相府の占拠を止めないと言っている。  
 添付の写真は、バンコク知事選のポスターです。5番は民主党(Democrats)の候補者。8番の候補者は、バンコク市内でいくつものマッサージ・パーラーを営んでいた人物。まるでギャングスターのようでしょう。振り返れば、サマック前首相もバンコク知事から首相の座に上り詰めたのであります。

知事選挙は10月5日に予定されていますが、今朝の新聞によると、延期になるかもしれないとのこと。派手なポスターがタイっぽいと思いませんか。今週末に帰国します。  
 取り急ぎ  
 MT@バンコク

< 帰国後：11月17日 第10信 >  
 運動指導者の逮捕と爆破テロ

バンコクの友人(タイ人)からのメールを翻訳して報告に代えます。(TM)

9月16日) ...タイからの情勢レポートです。5日は、バンコク知事選挙、民主党から出馬した候補者が再び当選(2度目)。しかし、残念なニュースがあります。PADのリーダーのうちの一人であるチャムロン少佐が、今朝、投票に行くため首相府を出たところ、警察によって逮捕されました。また、同じくPADのリーダーの一人であるチャイワット氏も2日前に逮捕されました。逮捕のニュースの衝撃は、首相府前に再び大勢の民衆を集結させるという結果を生みました。一部の人は、これらの逮捕はPADが民衆を行動へ駆り立てるためのPADの戦略であると言っていますが、それが本当なのかどうか、私には分かりません。

(この間、10月7日にデモ隊の強制排除が強行され、多数の死傷者を出した。)



街頭を飾る知事選のポスター

10月31日) ...タイの政情についてですが、ほ

とんどの人々は、最近の混乱した雰囲気ですでに慣れ始めていると思います。あの日、私は国会前にいました。私がある場を立ち去った、文字通り数分後に自動車が爆発したのです。その爆音が聞こえただけではなく、煙も漂って来ました。私の夫がすぐに帰宅するよう連絡してきました。というのも、警察が何か酷いことを計画しているとの噂が流れていたからです。私は帰宅し、テレビを見ましたが、画面には正視に耐えないような光景が映し出されていました。私が再び国会前に戻ってみるまでに、すべては終わっていました。裁判所付近では、ときどき爆発事件が怒っていますが、それらはここ数日の間、日々のヘッドラインニュースになっています。このような状況がいつ終わるのか、わかりません。しかし、11月中旬には国王の〔先に逝去した〕姉の火葬が行われる予定ですので、あなたが来られる頃までには、すべては落ち着いていることでしょう。



パラットさん (APWSL 調整委員・手前)  
とスリパイさん (元調整委員・正面)



APWSL タイの若いメンバー  
(タイ政変の渦中でAPWSLメンバーと交流。詳細は9ページからの報告を参照)

【 目 次 】

・ 総会報告	表紙
参加者の感想	3
07年度決算・08年度予算	4
・ 第三回反トヨタキャンペーン	5
・ 秋季大阪総行動	7
・ 激動するタイの政局 現地レポート	9

[編集後記]

いつもながら遅れに遅れた編集で執筆者の皆様、関係者の皆様、そして会員の皆様にご迷惑をおかけしました。ごめんなさい

元気をもらった総会や緊迫する対現地レポートなど、時間がたってもなお新鮮...と苦しい言い訳

「労働情報」の引越して住所が変わりました。今後とも「リンクス」APWSLをよろしく!

(稲垣)

LINKS      リンクス      No.49      2008年11月

発行所 東京都千代田区三崎町 影山ビル501号 協同センター・労働情報 気付

電話 03-6675-9095      FAX 03-6675-9097

関西連絡所 大阪市北区天満1-6-8 六甲天満ビル201号 ゼネラルユニオン気付

電話 06-6352-9619      F A X 06-6352-9630

Eメール apwsljp@jca.apc.org      URL http://www.jca.apc.org/apwsljp/

郵便振替 00180-3-137822

編集長 稲垣豊 編集委員 山崎精一、高幣真公、渡辺 弘、山原 克二

印刷 中原 逸雄

定 価 200円